



犬・笑・暮だより vol.31

季節の健康管理Ⅱ ～愛犬の健康診断してますか？～



やっと天候も安定してきましたが、暑さに弱いわんちゃんにとっては、快適に過ごせる期間はわずかです。その貴重なこの季節に、家族の大切な一員・愛犬の健康を考えてみましょう。

●健康診断を兼ねて1年に1回の血液検査

春はフィラリア予防を開始する季節。フィラリア予防を始める前に血液検査をして、感染していないことを確認する獣医さんが多いと思います。

「昨年もしっかり予防したし、わざわざ血液検査なんかなくてもいいのに……」と思う飼い主さんも多いと思いますが……、ちょっと待った！

犬を人間の成長に当てはめると、最初の一年間で、大型犬なら12歳になり、小・中型犬は17歳になってしまいます。2年後にはそれぞれ19歳と24歳になり、その後も毎年大型犬が7歳ずつ、小・中型犬は4歳ずつ年を取り、あっという間に人間を追い越して行ってしまいます。私達の大事な家族の一員である愛犬は、人間よりはるかに寿命が短いのです。

そこでちょっと考えてみて下さい。人間はある程度年齢が進むと、最低でも一年に一回ぐらいは健康診断をして、自分達の健康管理をしています。

子供の頃だって、学校で集団検診があったりします。そこでの検査結果をきっかけにして、病気の早期発見に役立ったり、お医者様と相談し、生活改善を行って未然に病気を防ぐことが出来たりしますよね。

さて、あなたの愛犬に対してはどうでしょうか？健康だといついつい獣医さんから足は遠のき、ましてや予防や健康診断なんて、普段中々考えなかったりしますよね。でも、犬だって私達人間と変わりません。

春先のフィラリア予防について来る「血液検査」はまたないチャンスです。この際、一年に一回ぐらいは、愛犬の健康診断を兼ねて、フィラリア検査以外の項目もプラスして検査してもらいましょう。一般的な検査はもちろん、腎臓や肝機能の検査など、血液検査は様々なことの判断材料になります。

例え一年に一回でも、人間にしてみれば4年か7年に一回の健康診断になります。そう考えると、毎年春先にやって来るこの機会を逃す手はありませんね。



News & Topics

警察犬の出動件数が増え続けている

「伊賀タウン情報YOU」に掲載された記事 (<http://www.iga-younet.co.jp/news1/2010/04/10-4.html>) より

人の仕事を助けるために訓練された犬たちはたくさんいますが、今回、「モンキードッグ」というちょっと耳慣れない仕事をやる犬のニュースを見つけました。

モンキードッグは猿から農作物を守るために、猿を追い払う訓練を受けた犬。名張市と宇陀市では、猿が人になれ、人間の手による追い払いが困難となってきたため、「モンキードッグ」の導入を検討しはじめたのだそうです。昨年11月から、両市で組織する「宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策協議会」が講習会を主催し、訓練費用も負担。

警察犬学校で行われていた週一回の訓練がこのほど終了し、両市で計10頭が認定を受け、4月13日には名張市内で認定式がありました。

訓練を受けた犬は当初12頭。そのうち、名張市7頭、宇陀市3頭が見事「モンキードッグ」に認定されました。犬種は、1才から10才までのダルメシアンやラブラドルレトリバーなど。今後は飼い主とともに訓練を続け、それぞれの地域でモンキードッグとして活躍する予定だそうです。



愛犬に関するお住まい・お庭のお悩みは **庭遊館** にお気軽にご相談下さい



庭園工事・外構工事・管理・設計施工

株式会社 庭遊館

〒504-0945 各務原市那加日新町6-65
TEL 058-216-3110
FAX 058-216-3113
<http://www.teiyukan.jp>

